



褐色少年らんちき漫画

シムレ・マシレ

R-18
ADULT
ONLY

18歳未満の
購入、閲覧禁止

*本作品は成人向け作品です。
18歳未満の方の閲覧、購入を禁止しています。
この作品はフィクションです。
実在する人物、団体とは一切関係はございません。



この度は「ミダレテ・マミレテ」をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
少しでも楽しんでいただけたら幸いです。

2021/02/25 ストレンジャー

HP <http://syota.buzama.com/>
MAIL undergroundou@gmail.com
pixivID undergroundou
Twitter under_groundou



広大な熱帯雨林に
流れる
世界三大河川の一つ
「デエー川」

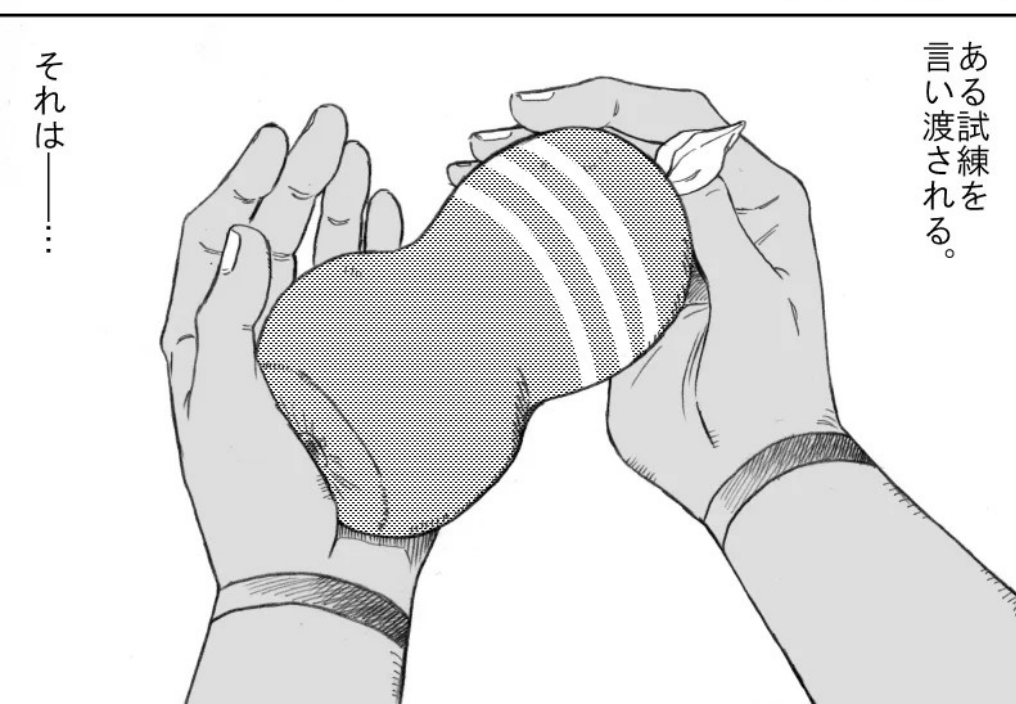


先住民族集団
「ジツカノリヤ族」

そこで生まれた
男子たちは
元服の年齢になると



その上流付近の
緑豊かな森の中
いにしえの時代から
暮らしていると
云われている――



ある試練を
言い渡される。

それは――



実の内部で
精通せよ……と
いうものだった。



部族が住む
地域……でしか
採れない
希少な果実
「テンギヤの実」



その完熟した実に
己のペニスを
突っ込み

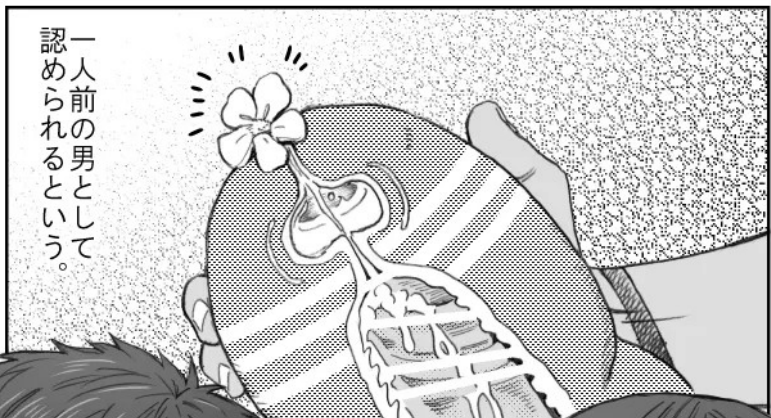




その通過儀礼のような
試験に毎年
易々と合格する者も
いれば――



射精に成功すると
有機物に反応した
テンギヤの実に
花が咲き――



一人前の男として
認められるという。



当然ながら
花を咲かせられず
不合格になる
者たちもいた。

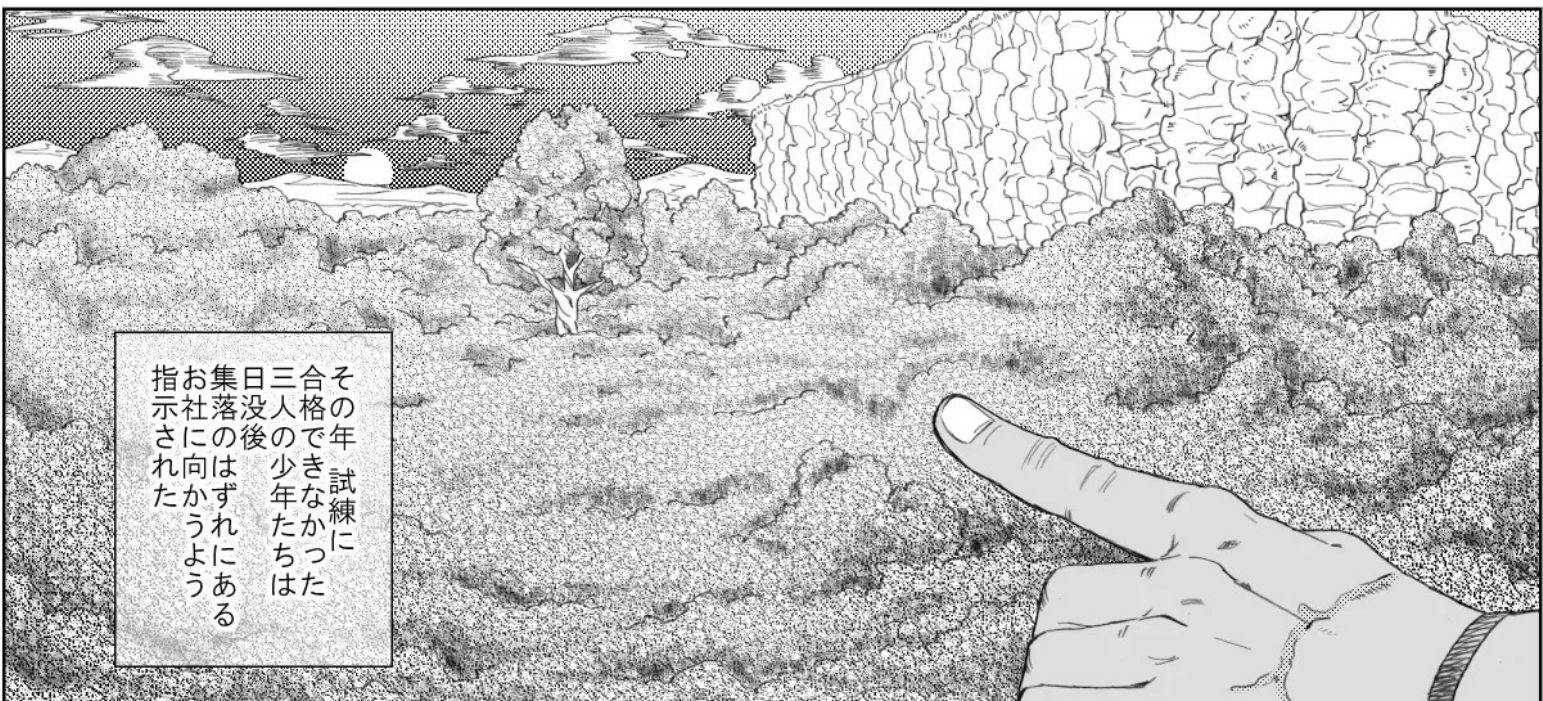
そんな
落ちこぼれの
一族の長は
救済措置として



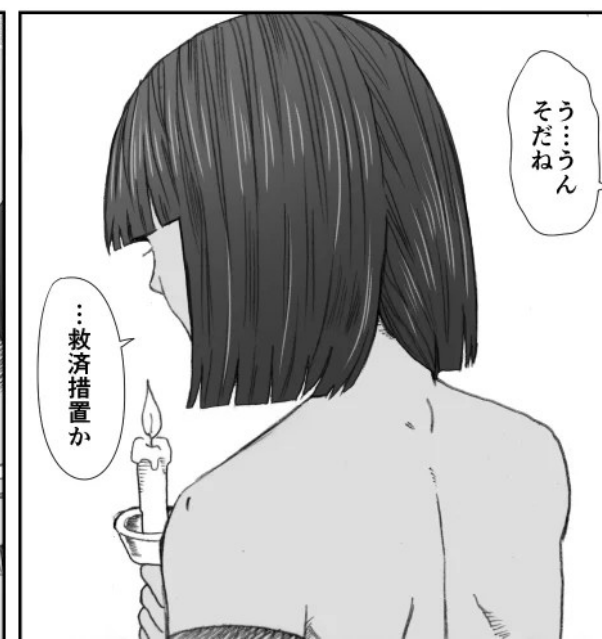
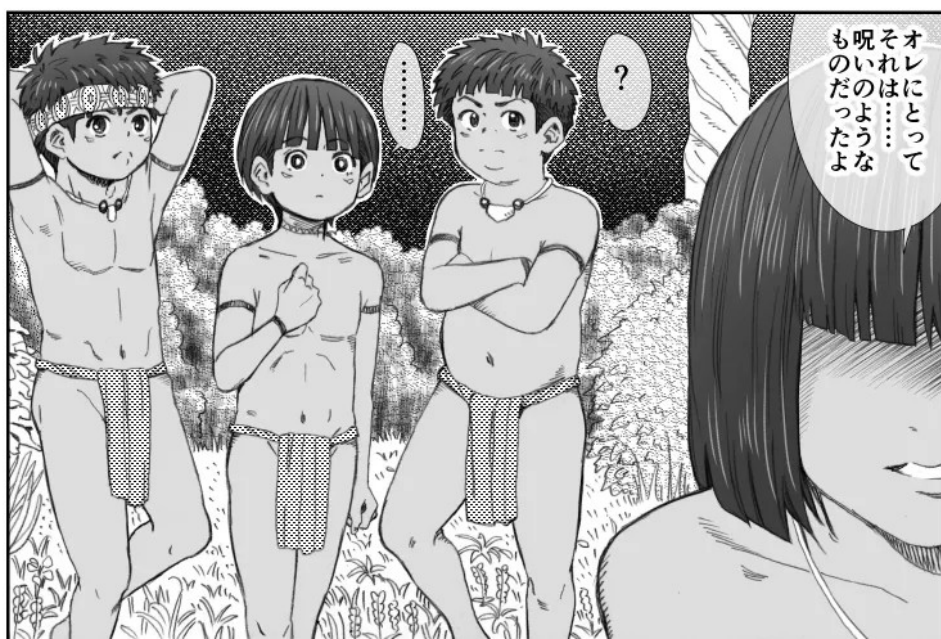
ある秘策を
用意していた



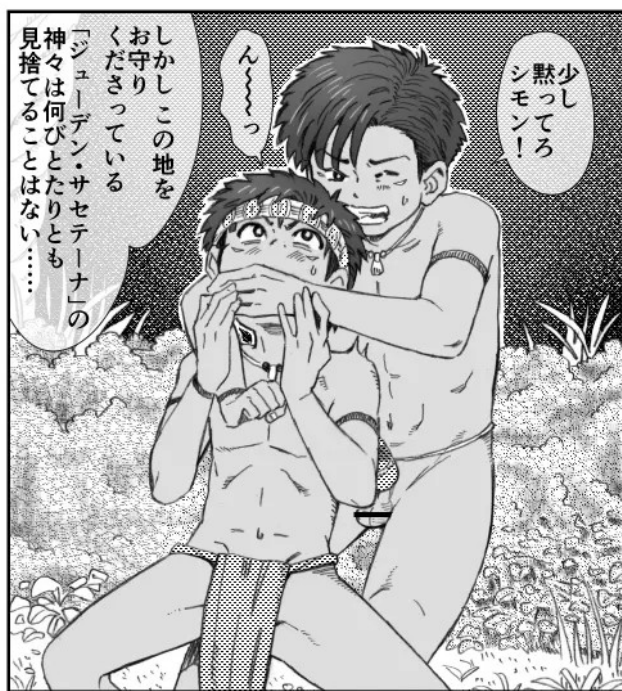
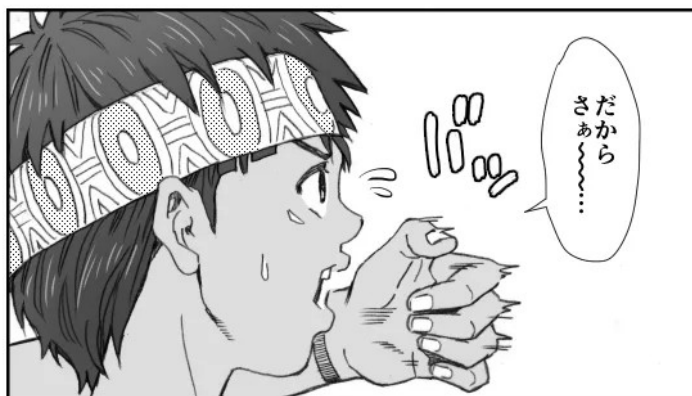
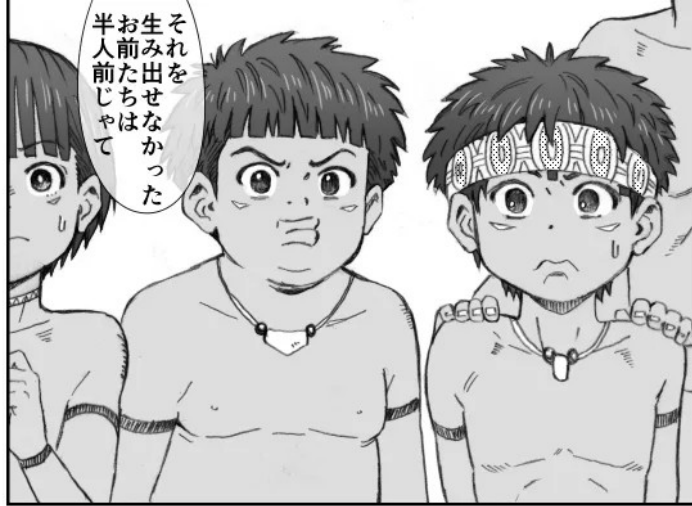
その年 試験に
合格できなかった
三人の少年たちは
日没後
集落のはずれにある
お社に向かうよう
指示された



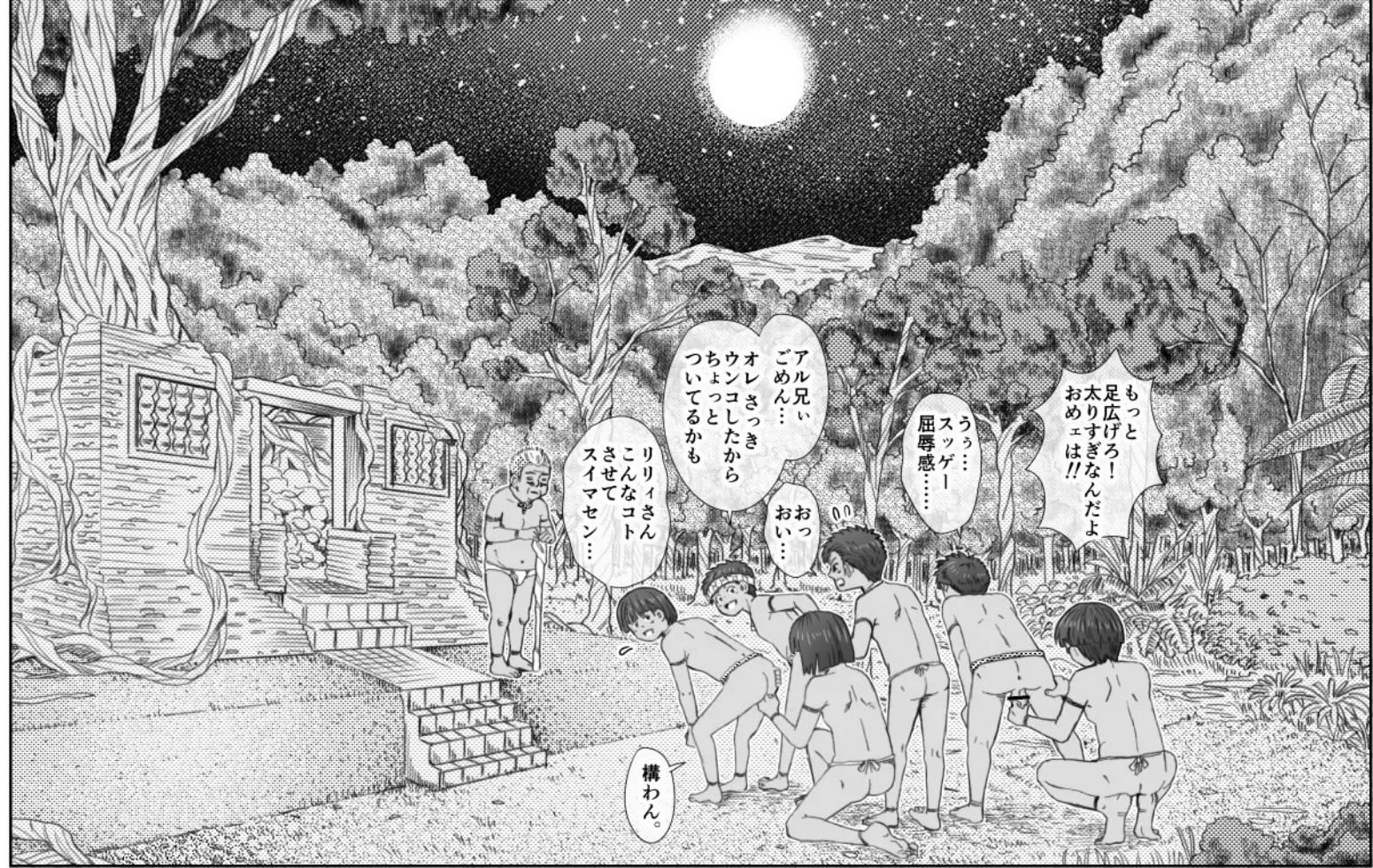


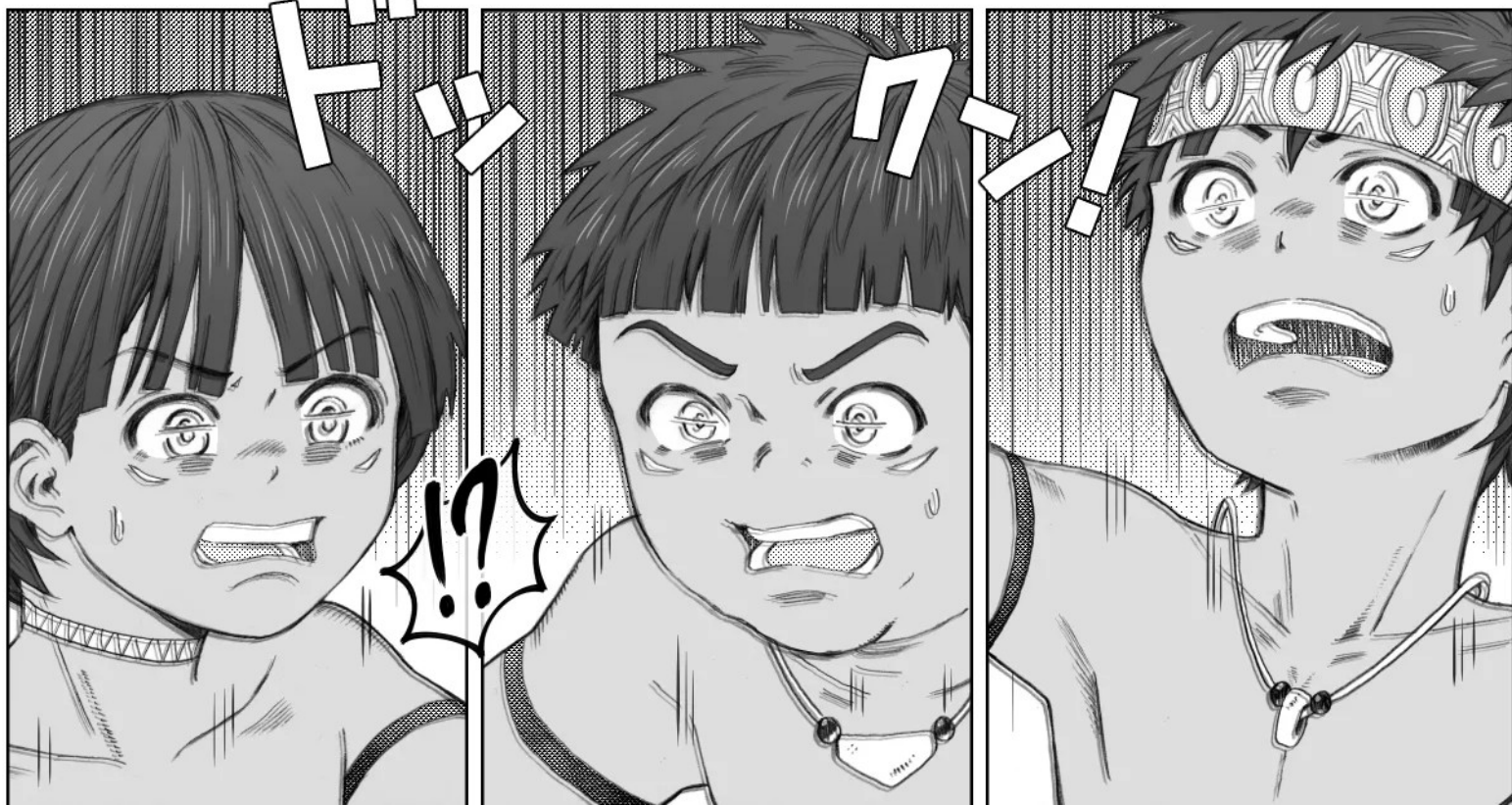


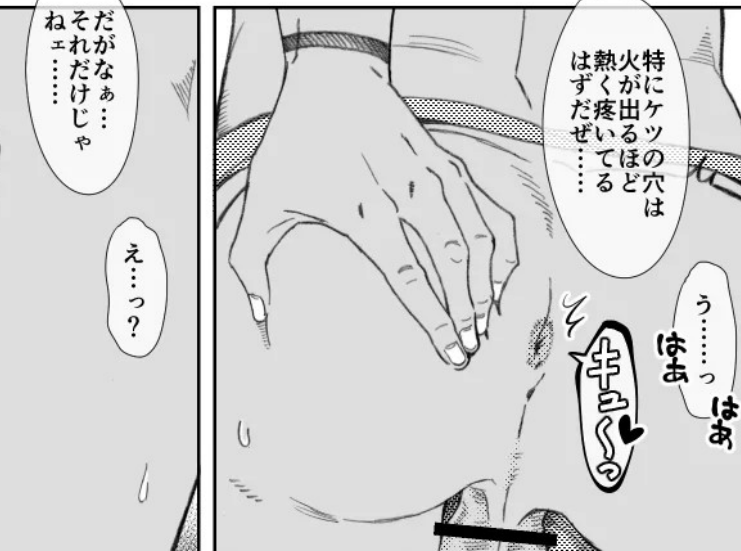
















案ずるな……死ぬわけではない。



新芽の世話はお前たちに任せたぞ

長老さま……ボクたちはどうなるんですか？



どうやら三人ともうまく先祖返りできたようだな



命が続き限り無尽蔵に作り上げる素晴らしい効能を持つているのだ

はあ

はあ

はあ

ジツカノリヤ族にとって精液は宝石だと
言っただけ……
お前たちが摂取した
あの種はその精液を急速に

だがその代わりに種を体内に取込み込めば男の肉体にしか欲情できなくなると云われている



その証拠に……

オラッ



ブリンッ



ウッ……ウッ……

本当だよ。

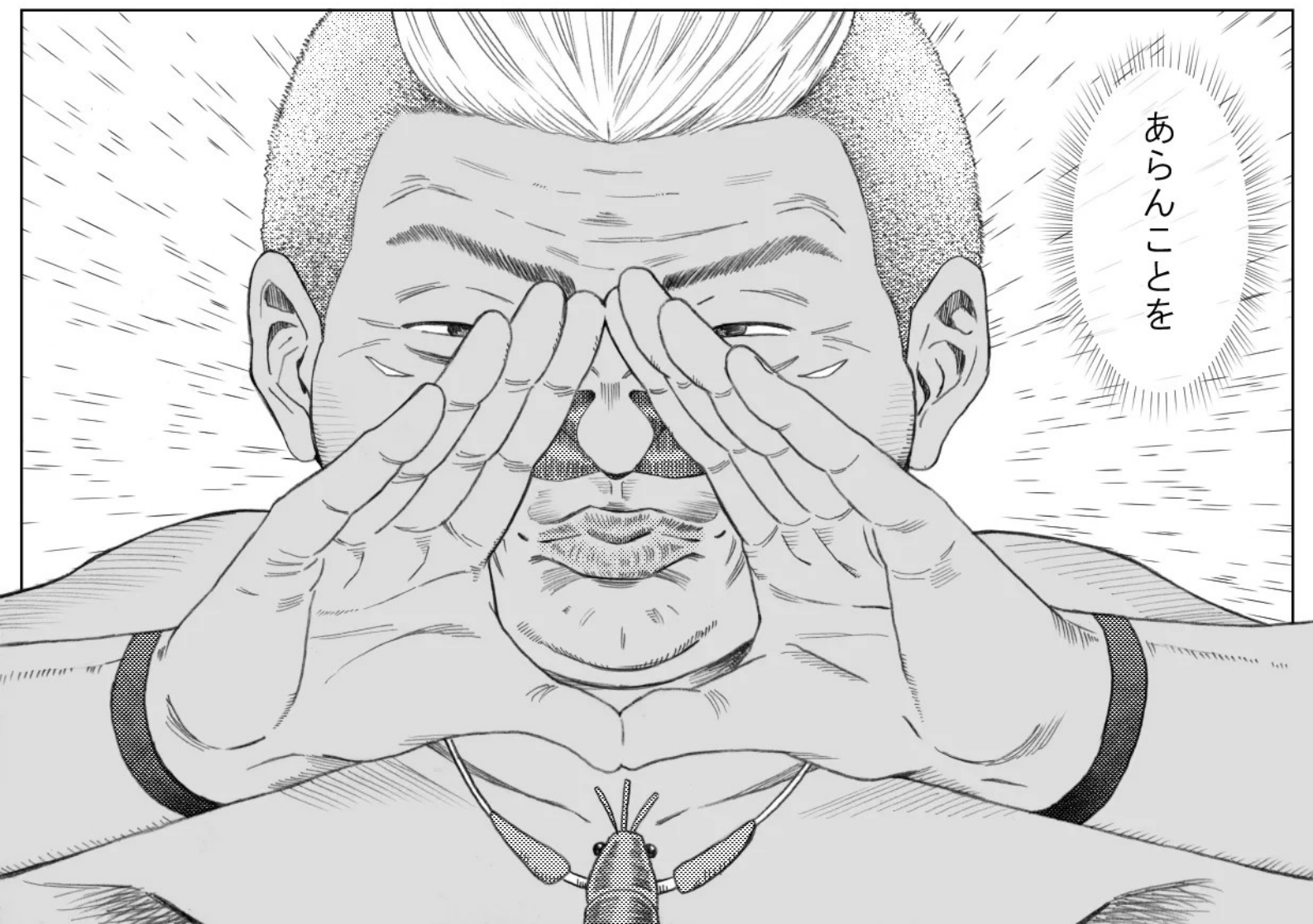
めっ



そなたらに—



精霊の
ご加護が—



あらんことを







なにジロジロ
見てんだよお...

オレの
赤いケツが
そんなに
珍しい？

今の俺は……

アル兄いは
しないの？
飛ばしっこ
しようよ！

俺は……

!?

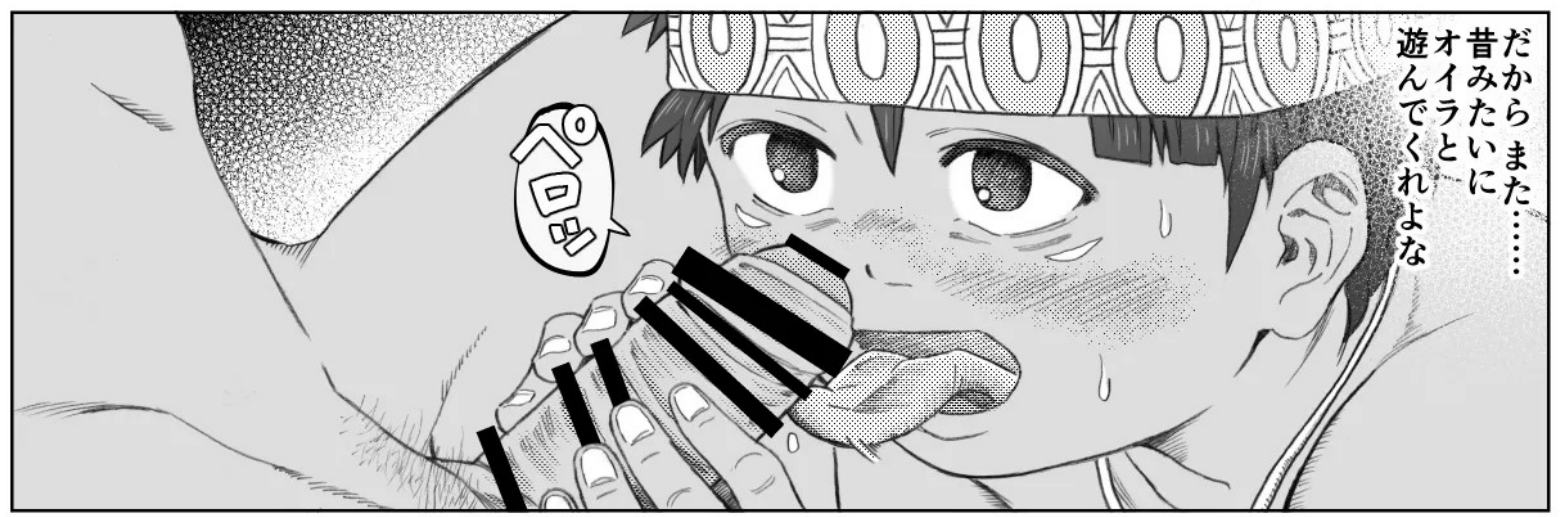
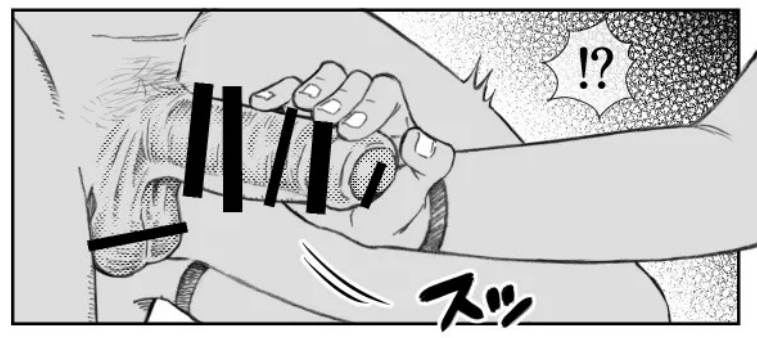
ズツ

だからまた……
昔みたいに
オイラと
遊んでくれよな

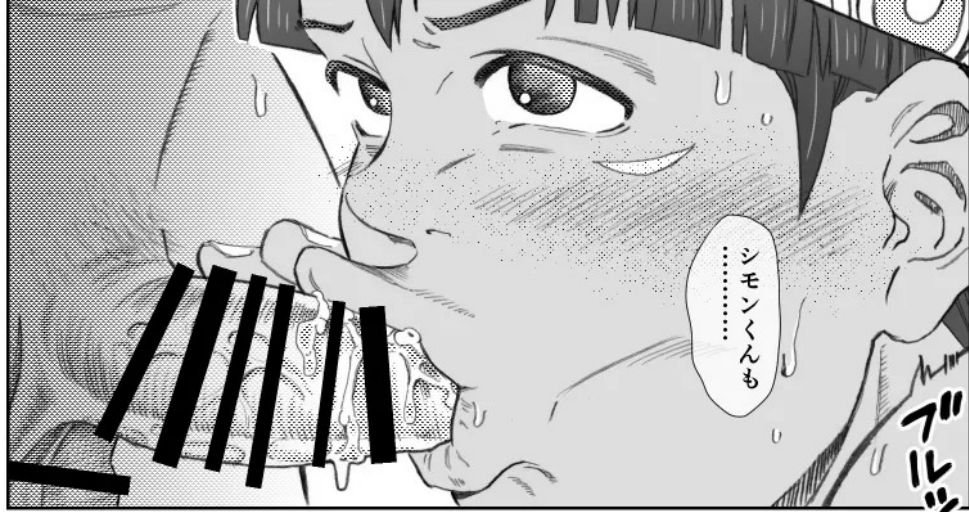
ロロ

アル兄いの……
言う通りにする

わかった……
わかったよ……
アル兄い……











泣くほど
美味エってか？

はあ

はあ

はっ
はっ

あ……

は……

ムン
ムン

こっちは
一足先には
おわったぜ……

：てかコイツ
俺のチン棒
しやぶりながら
すでに何度か
射精ちまって
やがる……

ムン
ムン

ブル
ブル

シューッ
シューッ
シューッ

こりや
とんでもねエ
淫獣になりそう
だぜ……!!

リリース
どうだ？

ん……
ろ

シューッ
シューッ
シューッ

ドッ
ドッ

ムン
ムン
ムン

シューッ
シューッ
シューッ

シューッ
シューッ
シューッ





アル兄いの
言う通り
全部
飲んだよ





ズン
ズン

ズン
ズン

ズン

なあシモン
その先っぽまで
剥った包皮を
カリ首に
初めて触れたら
お前はどんな声を
漏らす...?

俺の尻穴は硬い
ののののの
刺さる感じが
めっちゃいい
お前の中
に突っ込んで
みたい
浮表どお刺さ
るかな
んか情ん前さ
だべをなはっ
た突たりび
らき

すべてを...
俺に晒してみろ

この月明かりの
下でお前の
すべてを...

シモン!
シモンのシモン

はあ

はあ

はあ

ズン

ズン

ズン

ズン





楽になんか
させねえよ...

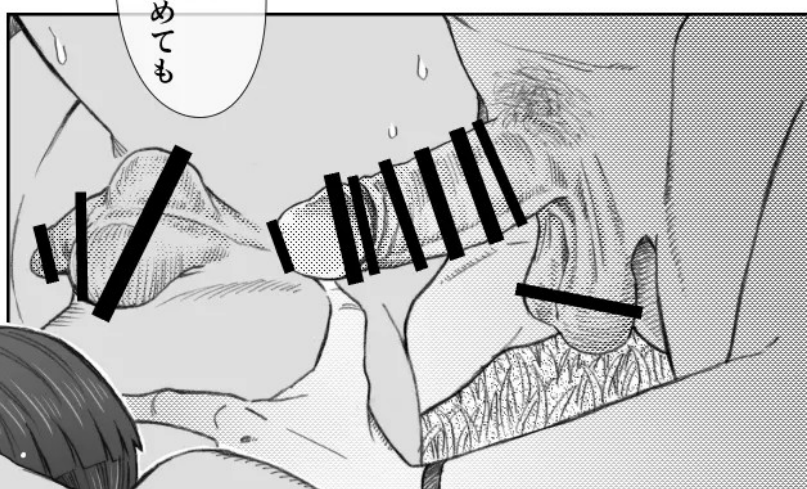
ぬっ

おめえは
これから
寝ても覚めても

チンコロの
ことしか
考えられねえ...



7!!



畜生に
なんだよ!!



意識が
ブツとぶまで
突いて突いて
やっからなあ!!

覚悟しとけよ
プタ野郎お...
あ

ガッ

フニッ

んっ

イキがつてみたけど
やっぱ無理...っ
してただけど...

ズ

ズ

ズ

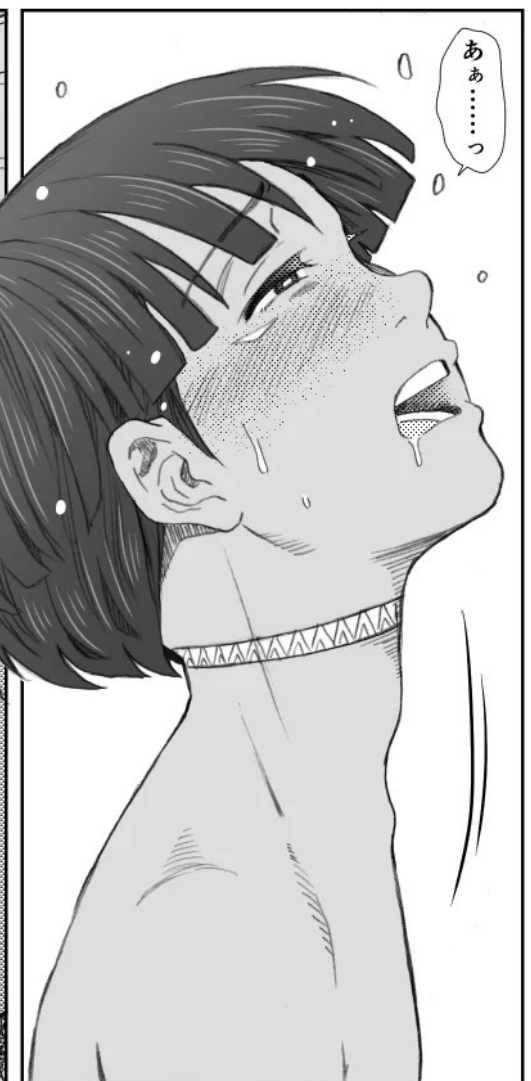
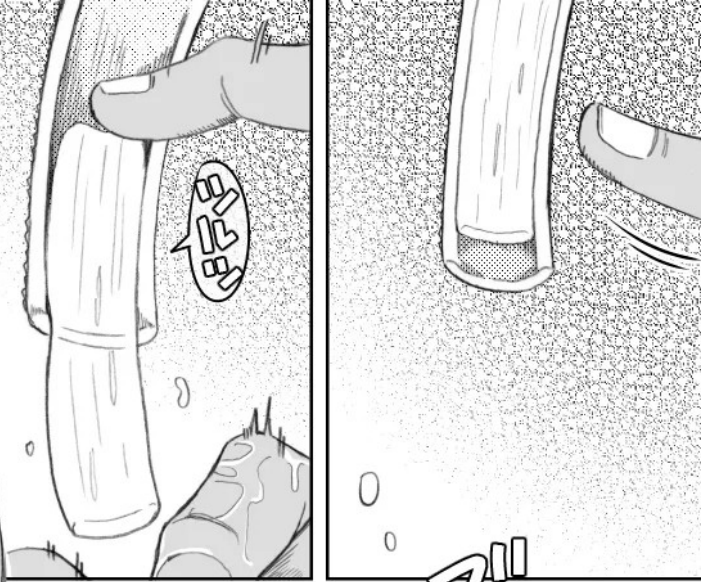
ズ

ビュン
ビュン
ビュン

未貫通の
ケツ穴がここまで
よく締まるなんて
聞いてねえって

こんな
三擦り半も
もつワケねえよ!!

ト
ト
ト







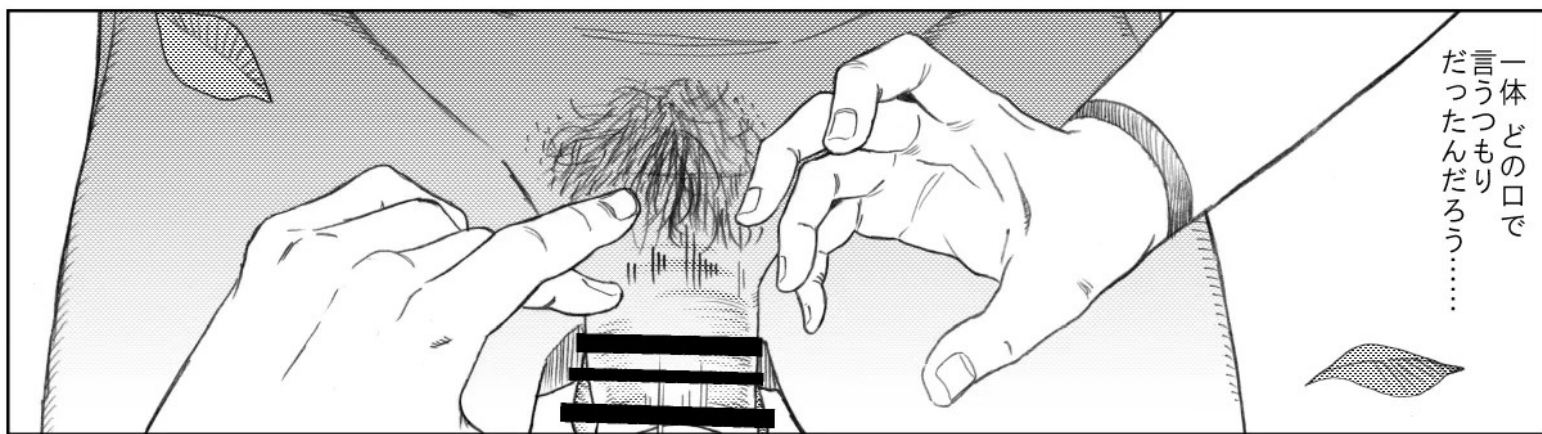








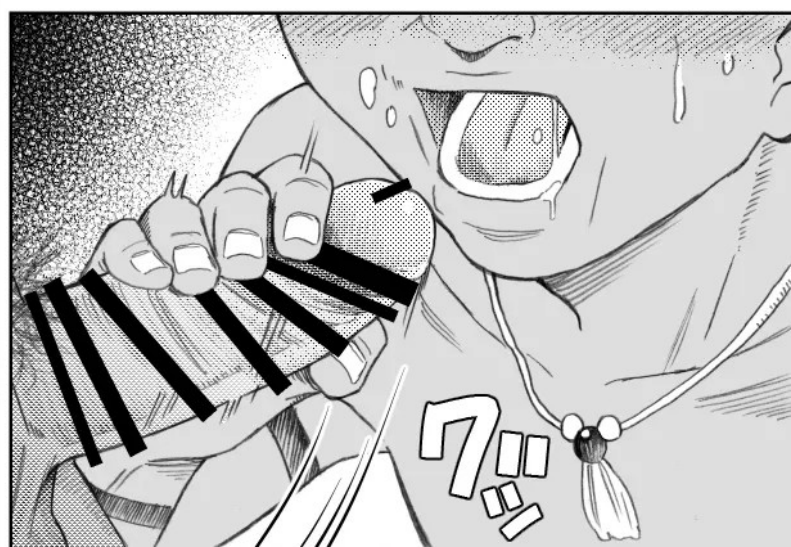
俺がお前を
守ってやる



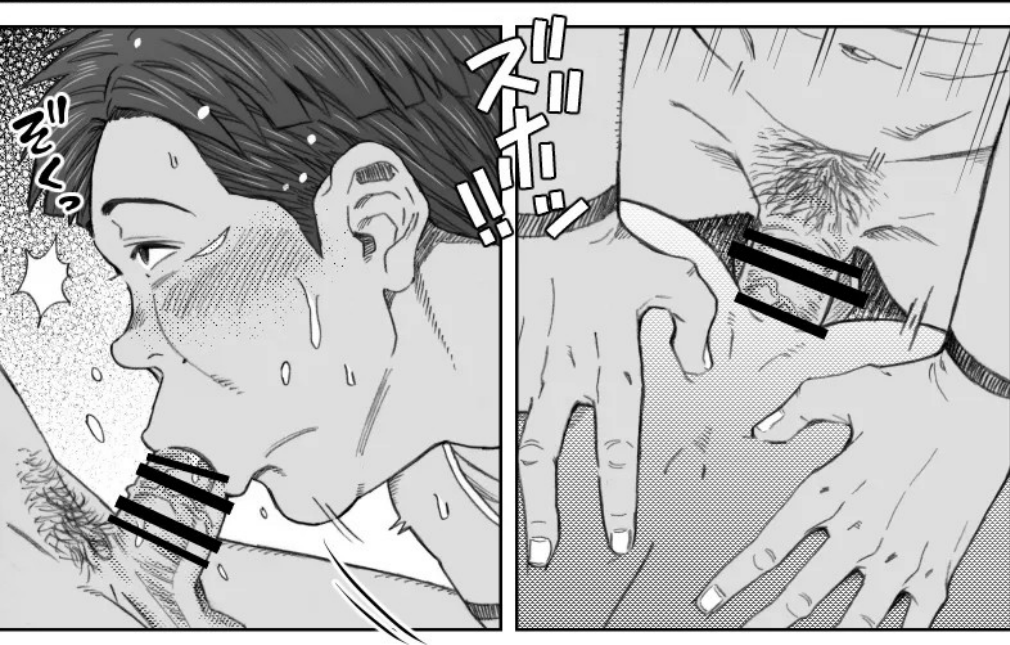
一体どの口で
言うつもり
だったんだろう……



言い切れなくて
よかつたんだ



どうせ
この場所から
逃げる術なら
ないんだから...



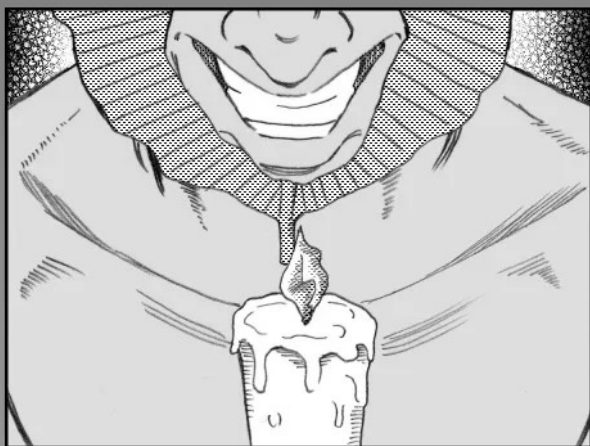


今の俺には
守ることも
償うことも...



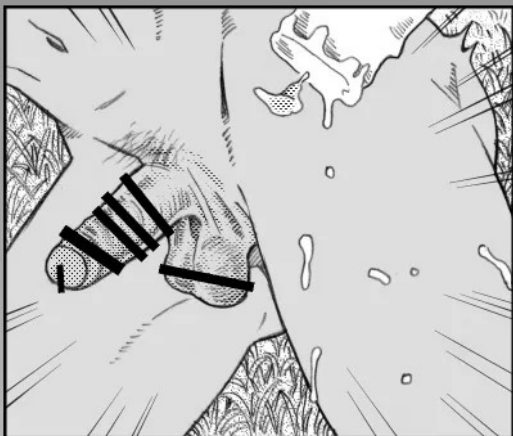
できないんだと
したら...
お前も—





そこで一緒に
蠟のように
とろけて――

ひとつに
溶け合おう



命が燃え尽きる
その時まで
一緒に……





すまない
フイーゴ…
俺はお前の
涙の止め方を
知らない――



今のお前に
どんな言葉を
かけても
何の足しにも
ならないことを
俺はイヤと
知っているから――

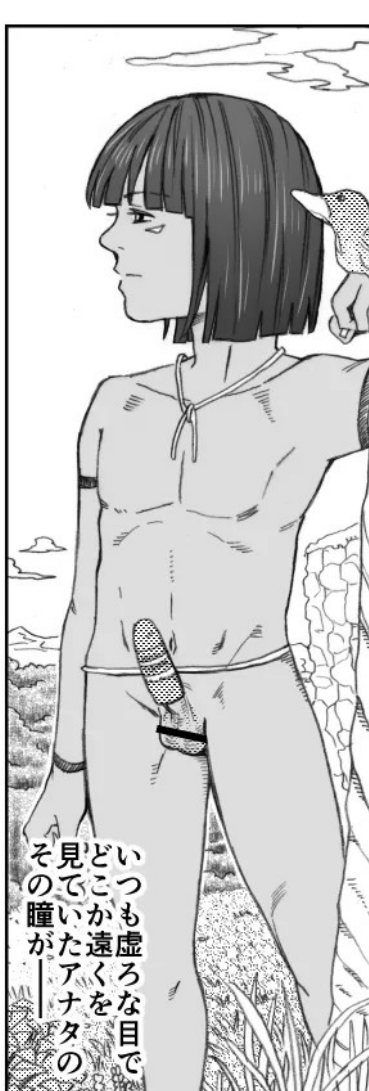


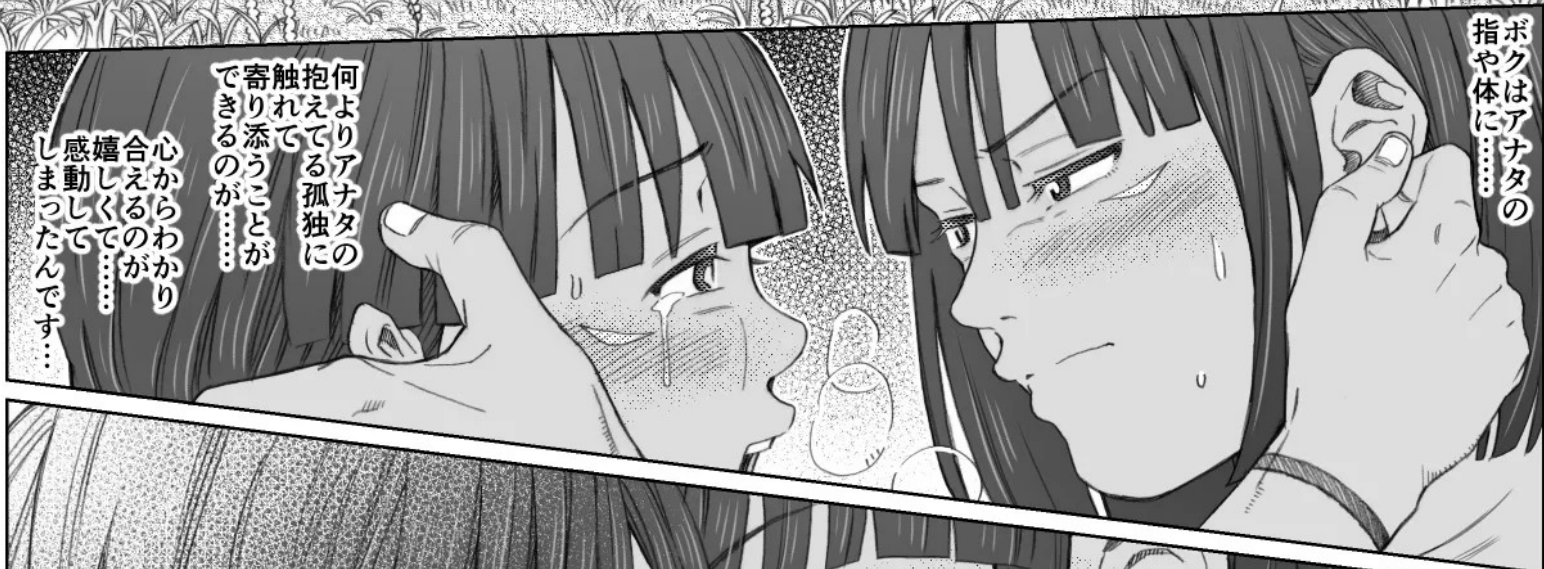
――いいえ
違うんです
リリーさん…
ボクは悲しくて
泣いているんじゃ
ないんです――



ボクはずっと
アナタが――

今まで誰にも
言えな
かったけど…





何よりアナタの
抱えてる孤独に
触れて
寄り添うことが
できるのが……

心からわかり
合えるのが
嬉しくて……
感動して
しまったんです……

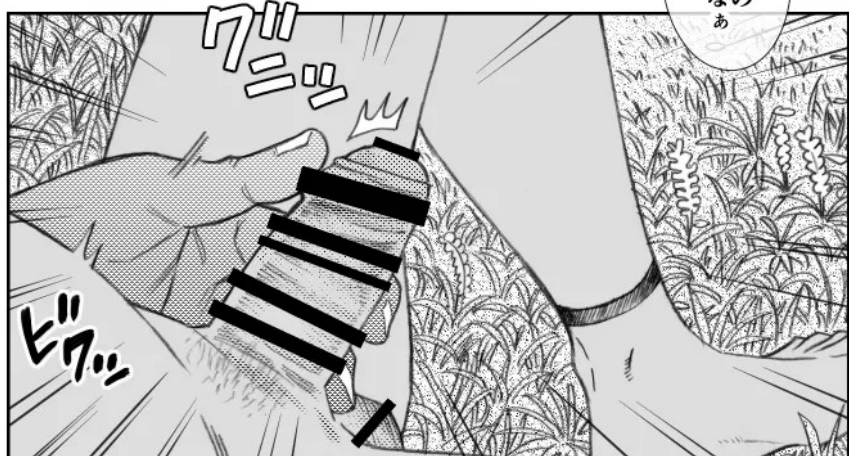
ボクはアナタの
指や体に……



ボクを
いつまでも……
アナタのおそばに
置いてください
リリィさま……

カンの鋭いお前なら
すぐに気づく
だろうから
教えといてやるよ！

この村の
秘密をなあ



長老は
気に入らなかつたん
だよ……

俺たちや
お前らのことがな……



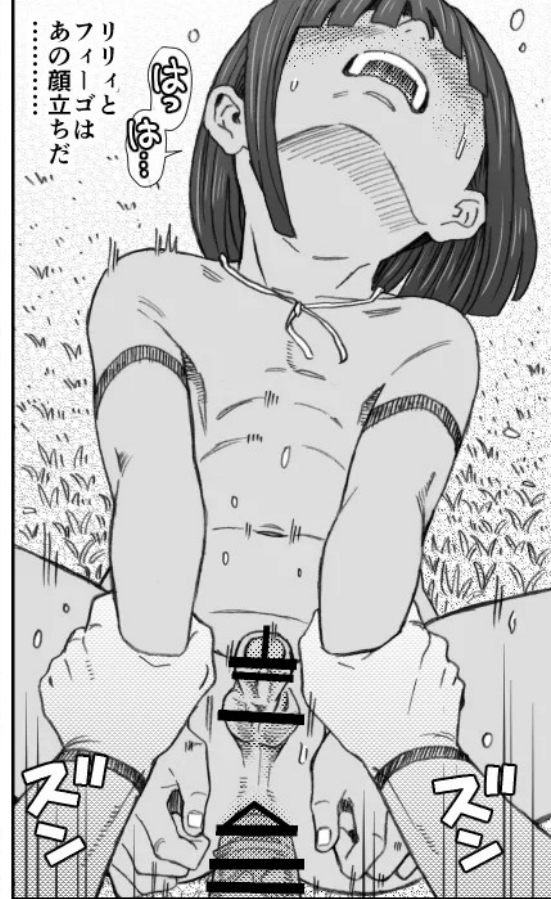


自分に歯向かう者
自分より
優れている者を
若いうちに
排除しておき
たかったのさ

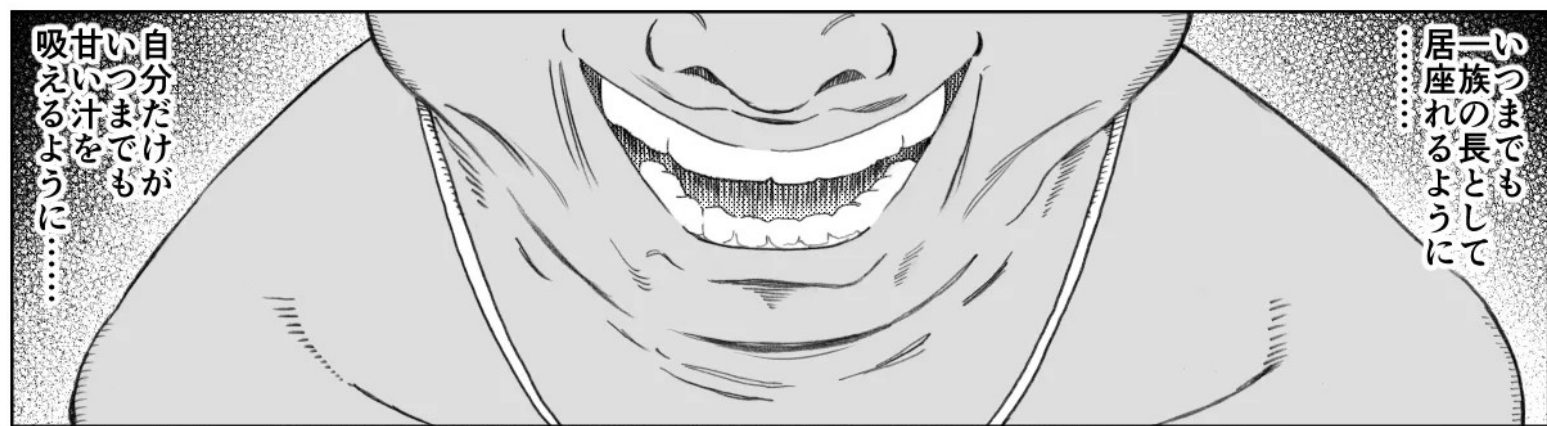
長老は
大人になるための
儀式だといつつ



将来的に
多くの妻を
囲うことになる
睨んだんどう

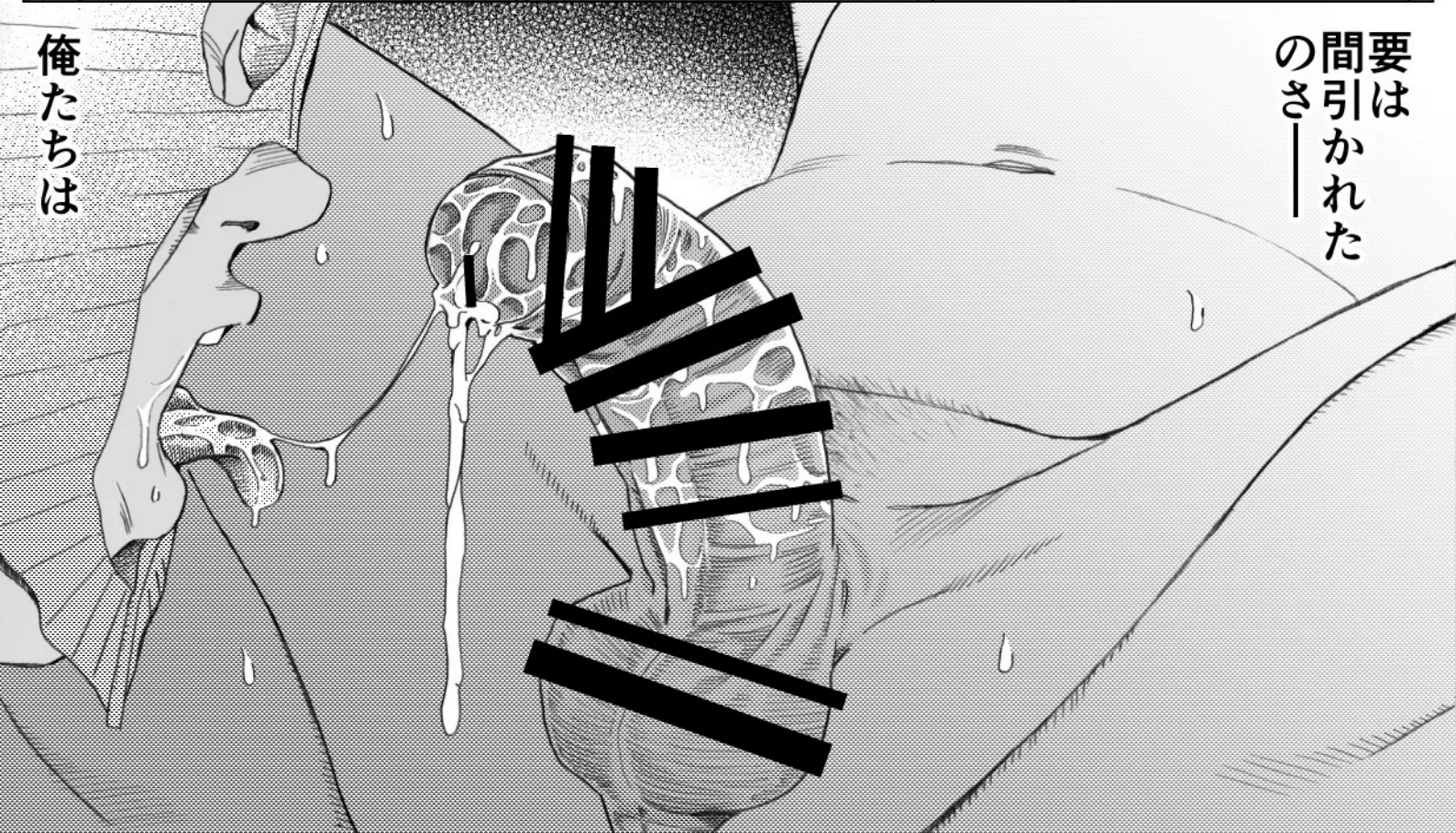


フリイと
フイーゴは
あの顔立ちだ
……



自分だけが
いつまでも
甘い汁を
吸えるように……

いつまでも
一族の長として
居座れるように……



要は
間引かれた
のさ――

俺たちは

なあ……
 笑っちゃうだろ？
 たった一人の
 自分勝手な
 欲のために
 ここにいる
 全員が犠牲に
 なったんだぜ……



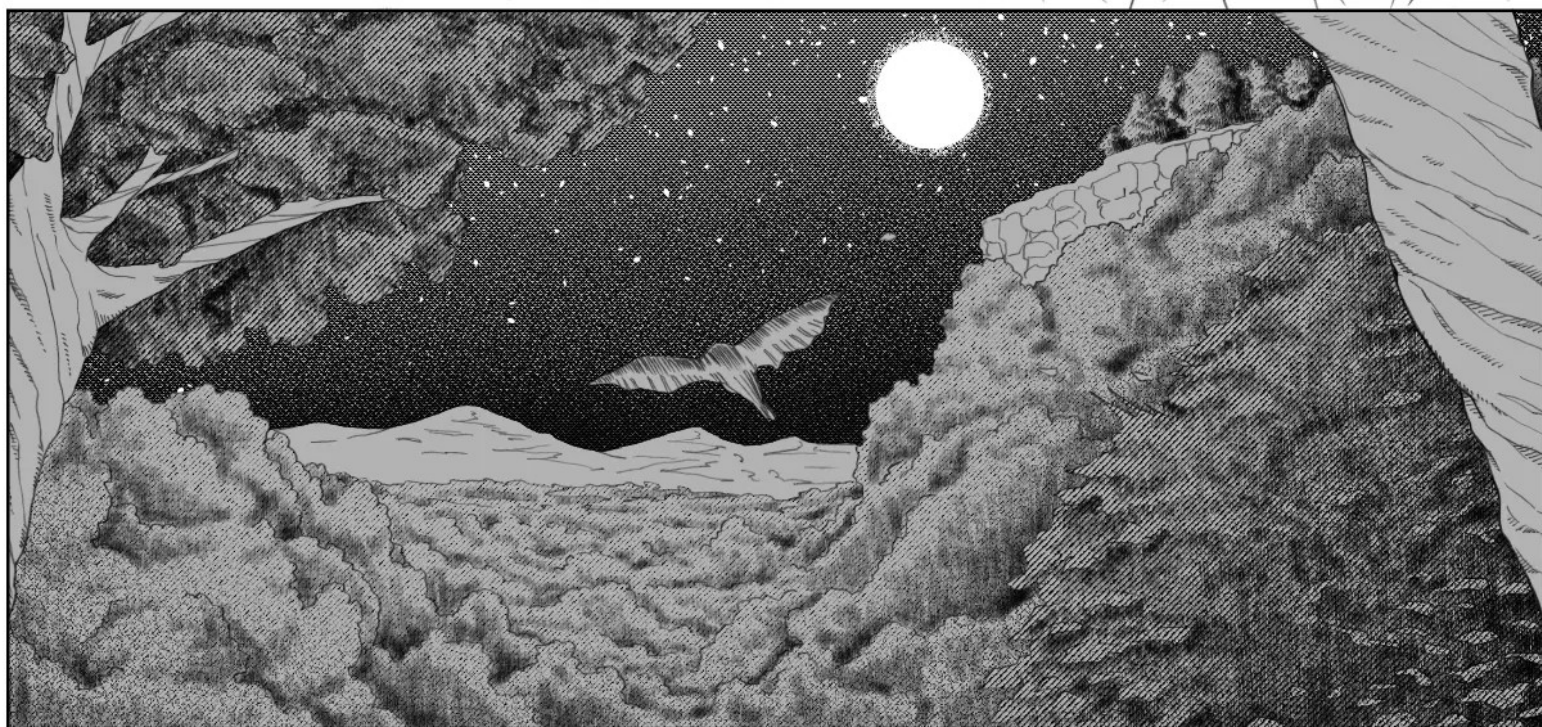
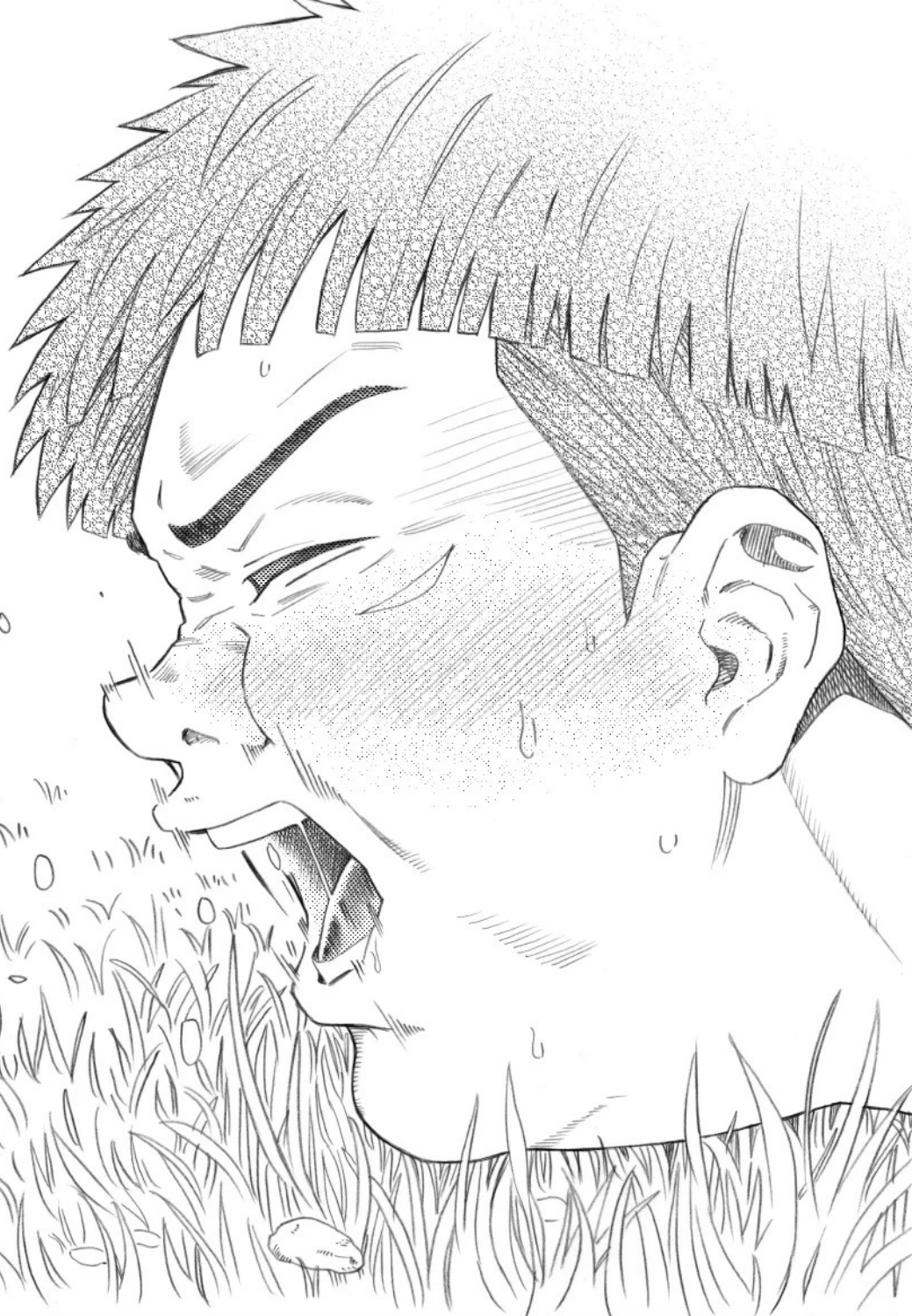




お前も
俺や
コイツらの
ように――

みだれて
まみれて……

くるううえエ…
狂っちまえ!!





森の鳥たちが
騒がしい……

バサッ



お前たちは
初潮を迎えた
ばかりなの……



せいぜい
楽しむがよい……
精霊に
捧げられた
無垢なる
贅の子らよ



ヤツらも
「ヤバイ夜の宴」を
始めよったか……



知らずに
生きて
いくがよい



隣のウッチャナツチャ族に
数で負けてらんねえんだから
とっとと出して次いけよ!

あつてんだよ
つかえてんだよ
早くおし!!

ごめんなさい
ごめんなさい

クソテツ
おめエツ
ひとりの
種付けの
何んだけに

ごめんなさい
ホント
ごめんなさい

知らずに
生きていけ...!!

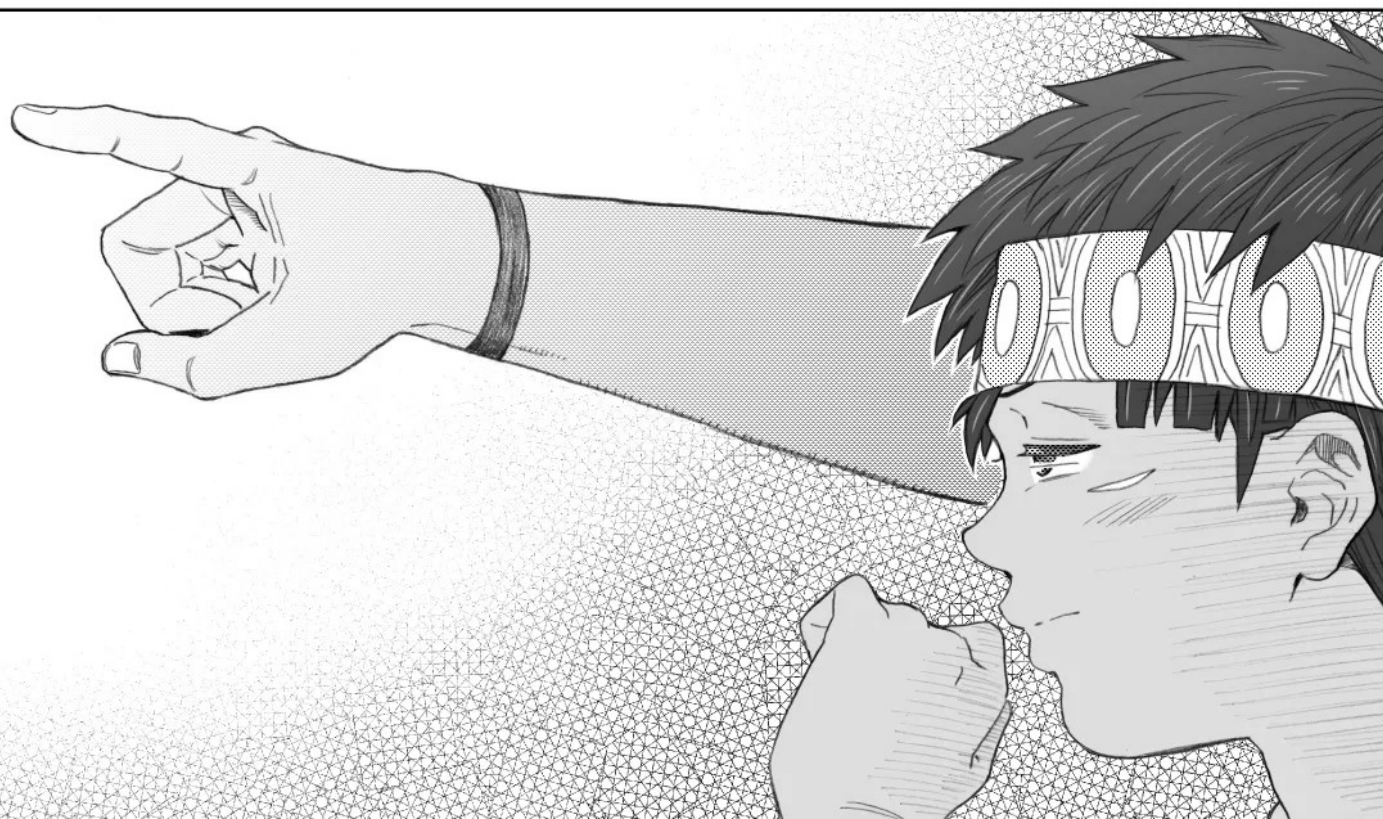
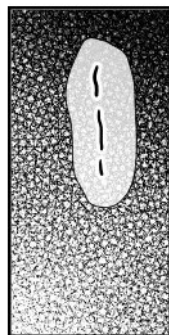
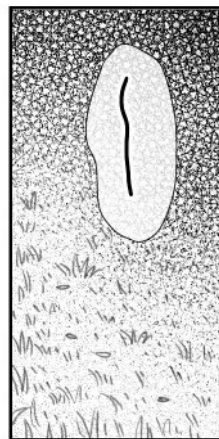
そう.....
知らなくていいのだ。
どんな猛獣よりも
恐ろしい鬼を宿している
ジツカノリヤの女たちなど...

しっかし近くで見ると
ほんとブツサイクな
ツラしてんね.....

アタシの子供が
アンタに似たらと
思うとへドが出るわ

てかお前
いつまで長老で
死ねる気だよ?

死ね死ね
クソテツ
死ね死ねっ!!







おい